

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： みよし商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考			
				目標①		目標②			得られた効果		ABCD評価							
				目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足	目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者の健全な経営改善と育成を図るため経営指導員を中心に商工会職員全員が積極的に事業者に接触し相談指導を行う。相談指導に当たっては経営課題の把握に努め、課題解決や経営資源活用のための伴走型支援を行う。	巡回窓口指導実企業 481社 うち非会員 37社 巡回窓口指導延回数1,459件 うち非会員 65件 うち課題解決提案件数 31件 経営革新承認件数 7件	小規模事業者	目標	巡回窓口指導延件数 (達成度 97.3 %)	目標	課題解決提案件数 (達成度 103.3 %)	物価高等に対応するための経営基礎を確立するため、事業計画策定、融資斡旋、補助金申請支援など小規模事業者に対し伴走型支援を行った。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	現行どおり実施する。引き続き小規模事業者に対し伴走型支援と経営改善普及事業に基づく経営指導を実施する。	○
記帳継続指導	地区内個人事業主の自主記帳の促進を図り、日常記帳から決算・税務申告に至るまで、記帳実務の習得を支援するとともに経営相談を行い、事業所経営の向上を図る。	記帳相談指導延回数 1,348回 指導対象事業者数 98事業所 指導延日数 490日	小規模事業者	目標	記帳指導対象事業所 (達成度 103.2 %)	目標	(達成度 %)	小規模事業者にとって負担となる記帳や税務に関して支援することにより事務負担の軽減が図られる。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	電子帳簿保存法の円滑な導入支援を行うなど、引き続ききめ細やかな支援を行う。	
講習会事業	地区内の小規模事業者の要望にあった講習会を実施することで、必要な知識の習得と資質向上を図る。	講習会開催回数及び受講者数 集団 4回 6人(延べ) (内、経営革新1回0人) 個別 44回 108人(延べ) 計 48回 114人(延べ)	小規模事業者等	目標	講習会参加延人数 (達成度 41.3 %)	目標	(達成度 %)	事業者が講習会を受講することで、経営に関する知識と実践スキルを習得することができ、事業活動に活かすことが可能となった。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法②	他の制度を活用した講習会を開催するため、重複する部分について回数、参加人数、目標を削減する。	○
若手経営者等育成事業（青年部・女性部）	地区内の若手経営者や後継者及び事業に携わる女性が地域でのつながりを深め、自ら勉強する姿勢を身につけることで地域の小規模事業者の持続的発展に寄与する。	経営講習会の開催 1回27名 青年部全国大会参加1回 3名 女性部全国大会参加1回 3名 満足度調査アンケート 100% 動画参加事業所数 4社 動画Youtube再生回数 381回	小規模事業者等	目標	事業参加延人数 (達成度 54.4 %)	目標	(達成度 %)	全国大会への参加や講習会の受講により経営者としてあるべき姿について勉強し、若手後継者及び経営に携わる者としての資質向上を図ることができた。	総合評価	B	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法②	講習会については、若手後継者等の経営改善につながるものとする。全国大会参加は正副部長に限定して目標を下げる。	
地域振興・祭典事業	祭事の集客力を活かして地域産業のPRに努め、地域の総合的な発展を図る。また行政が姉妹都市提携を結ぶ北海道士別市、長野県木曾町との交流を通じ、相互の地域経済の活性化を図る。	産業フェスタ委員会 4回 産業フェスタへの参加 1回49事業所 姉妹都市交流事業 未実施	小規模事業者等	目標	事業参加延事業所数 (達成度 81.7 %)	目標	(達成度 %)	昨年より参加事業所が多くなり、キッチンカーでの出店も増えた。各出展者は工夫を凝らし、地域に結びついた商工業の振興を図ることが出来た。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	現行通り実施する。市内商工業者それぞれの産業の特徴を広く一般市民に周知PRする。	○
会員交流事業	会員交流の場を提供して会員相互の親睦を深め、異業種交流を促進することで、ビジネス機会を創出し地域経済の活性化を図る。	会員研修会 1回29名 役員研修会 1回20名	小規模事業者等	目標	事業参加延人数 (達成度 61.3 %)	目標	(達成度 %)	研修会を開催したことで、参加者の知見を深めることができた。また参加者相互の交流が深まりビジネス機会を醸成することができた。	総合評価	B	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法②	現行どおり実施する。参加者が多数となよう開催時期、研修場所を検討する。移動時の座席スペースを考慮し参加者数を減らす。	
産業活性化事業	地域の特性を活かした地域資源の活用と特産品の開発普及・PRを本会で購入したキッチンカーを活用して実施し、地域産業の活性化と地域力の向上に資する。	特産品認定の認定 2回 特産品委員会開催 4回 参加人数19人(延べ) キッチンカー出展 4回	小規模事業者等	目標	委員会参加延人数 (達成度 63.3 %)	目標	(達成度 %)	キッチンカーによる特産品を用いた飲食物販売や特産品販売会に出展し、特産品のPRを行う子が多かった。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	現行どおり実施する。機会を捉え、販売会等を実施、参加し、積極的に特産品のPRを実施する。	○
部会・委員会事業	各種団体・産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会へ貢献や発展を図り、地域商工業の活性化に資する。	部会・委員会等会議の開催 工業部会 8回 80名(延べ) 建設部会 8回 48名(延べ) 商業サービス部会 4回 18名(延べ) 食品部会 2回 16名(延べ) 振興条例委員会 未実施 ホームデベロパー委員会 4回 17名(延べ)	小規模事業者等	目標	会議開催回数 (達成度 92.9 %)	目標	(達成度 %)	部会活動を通して地域内小規模事業者の経営改善に役立つ様々な事業実施に向けた取り組みを行った。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	現行どおり実施する。会議の開催により各部会、委員会の円滑な事業推進を図る。	
福利厚生事業	管内の中小・小規模事業者の経営安定と雇用の継続性を図るための各種共済制度の普及を目的とする。又、健康診断を実施し商工会員の健康増進を図る。	取扱共済加入口数 1,458口 健康診断受診者数 349人	小規模事業者等	目標	各種共済加入口数 (達成度 100.6 %)	目標	(達成度 %)	共済の加入促進により事業主の生活安定と雇用対策や労務改善、福利厚生に寄与できた。自己財源の確保も図られた。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	現行どおり実施する。会員事業所の福利厚生の充実を図る為、PRに努め、加入や利用の勧奨を図る。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業者経営支援事業費補助金関係）

団体名： みよし商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				
				指標	目標値	実績値	指標	目標値	実績値	総合評価	事業実施評価	調査結果	満足度	補足	目標①		
雇用促進事業	雇用の継続性を図るために、他市町と合同企業展を共催する。また優良企業表彰や従業員の勤労表彰を実施し経営の健全な育成に資することを目的とする。	優良企業表彰事業所数 1事業所 優良従業員表彰者数 6人 合同企業展参加事業所数 18事業所	小規模事業者等	指標 参加事業所数 (達成度 90.0%)	20	18	指標 (達成度 %)		優良従業員表彰することにより、従業員の勤労意欲の高揚、企業の健全な発展に寄与し、合同企業展への協力により人材確保に寄与した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	現行どおり実施する。人手不足を解消するため福利厚生の実施を通じた人材確保に繋がる取り組みを実施する。
青年部・女性部事業（青年部）	青年部員間での交流やイベントを通じて地域との関わりを高め、青年部の育成を図るとともに、地域の発展に寄与することを目的とする。	三好池まつり事業の実施 1回24名 産業フェスタ事業の実施 1回19名 講習会・研修会の開催 1回4名 先進地視察研修 1回9名 指導者資質向上研修会への参加 1回1名	小規模事業者等	指標 事業参加延人数 (達成度 83.8%)	68	57	指標 (達成度 %)		事業活動により、部員の資質向上と、地域の振興・発展に寄与した。また、事業活動を通じて部員間の異業種交流としての効果も得ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	現行通り実施する。部員の資質向上及び、地域の振興・発展に努めるために事業活動を行う。
青年部・女性部事業（女性部）	女性部員間での交流や社会福祉活動を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	講習会開催、他団体事業へ参加回数 3回9名(延べ) 視察研修会の開催 1回11名 指導者資質向上研修会への参加 1回2名	小規模事業者等	指標 事業参加延人数 (達成度 43.1%)	51	22	指標 (達成度 %)		研修会の参加を通じ、経営に携わる者としての資質向上を図ることができた。講習会・他団体事業等の開催に参加することで、他団体の良い点を活かして地域貢献に寄与した。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標② 上げる	縁結び婚活事業を開催するため目標数値を上げる。
商店街・街づくり事業	新たな生活様式に対応するための様々な経営課題解決に向けた研究を行い、域内小規模事業者の活性化を図ることで地域振興、街づくりに寄与する。	新規街路灯設置 1基 街づくり委員会 4回22名(延べ) 新規イベント委員会 12回58名(延べ)	小規模事業者等	指標 新規街路灯設置 (達成度 100.0%)	1	1	指標 (達成度 %)		街づくりや新たなイベントの研究、企画することで、中長期的な街づくりと短期的な賑わい創出について方向性を打ち出すことができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 廃止	目標② 廃止	街路灯の新設数が1基と少ないため、目標を事業を推進するために開催する会議に変更する。
調査・広報事業	商工会ホームページや報誌等を通じ情報を発信し、また地域経済動向を調査し公表することで、事業者の新規顧客獲得・売上増加に寄与し、あわせて事業者向けに施策等の有用な情報を周知することで経営力の強化を図る。	街の情報満載総合サロ小委員会の開催 2回 商工HP登録利用者 64社 広報委員会の開催 8回 いいじゃん通信(商工会広報誌)の発行 4回 茶発行部数88,200部 地域経済動向調査 未実施	小規模事業者等	指標 いいじゃん通信発行部数 (達成度 100.9%)	87400	88200	指標 (達成度 %)		一般消費者向けに広報誌を発行することで商工会事業や掲載企業のPRを図ることができた。また商工会HPをリニューアルし、更新処理の効率化を図ったことで情報より発信しやすく、企業PRの場を提供することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	商工会HPのリニューアルを終え、当初委員会立ち上げの切っ掛けとなった事業をすべて全うしたため発展的解散となるが引き続きHP登録は推奨している。
労働保険事業	事業主に代わって労働保険の申告納付、その他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理負担を軽減し労働保険の適用促進及び労働保険の適正な徴収を図る。	労働保険委託事業所 197事業所	小規模事業者等	指標 委託事業所数 (達成度 101.0%)	195	197	指標 (達成度 %)		労働保険に関する事務手続きについて事業主の事務負担を軽減することができた。また、e-Govシステムの活用により手続きの円滑さも図れた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	廃業や労働者なしによる委託解除があるものの、創業や事務負担の軽減、特別加入制度の活用から新規委託もある。今後も引き続き労働保険の適用促進を推進する。
税務関係団体指導事業（青色申告会）	青色申告会の活動をサポートすることにより、適正な申告と納税を行うよう研修・指導を行う。	青色申告会の研修事業 2回8名(延べ)	小規模事業者等	指標 事業参加者延人数 (達成度 80.0%)	10	8	指標 (達成度 %)		青色申告会の運営を支援することで税務知識の向上、青色申告制度の普及促進を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 下げる	正しい納税知識に基づいた申告を行えるよう青色申告の推奨を推進する。なお、参加していた研修が変更になったため目標を変更する。
創業支援事業	市及び民間事業者と連携し、創業塾の開催、創業個別相談会の開催率の向上を目指すことにより、地域の活性化、雇用の確保を図る。	創業塾の開催6回63名(延べ) 創業個別相談会の開催 4回9名(延べ)	小規模事業者等	指標 セミナー相談会参加延人数 (達成度 72.0%)	100	72	指標 (達成度 %)		創業に関心がある人・創業予定者に対し、創業の事前準備として、経営・財務・販路拡大・人材育成のセミナーを開催。個別相談会も開催し創業に向けた必要知識習得の場を提供することが出来た。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 下げる	創業塾の受講人数に限度があるため目標数値を下げる。創業に対し必要な知識習得を目指すために開催する。
講習会事業（伴走型支援事業）	小規模事業者の経営資源を活用する事業計画策定個別セミナーを開催し、小規模事業者の事業計画に基づいた経営を支援し、経営力の強化を図る。	事業計画策定セミナー 1回2人 IT化・DX化セミナー 1回10人 事業計画策定個別相談会 2回2人	小規模事業者等	指標 セミナー・相談会参加延人数 (達成度 58.3%)	24	14	指標 (達成度 %)		経営資源を活かした事業展開を計画する事業者の事業計画策定支援を実施することで、事業者の将来展望の見える化を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	現行どおり実施する。令和6年3月に経営発達支援計画が更新されたため、更新内容に合わせて事業を推進する。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。